

EU Indicators

欧州経済指標コメント：3月ユーロ圏PMI（速報）

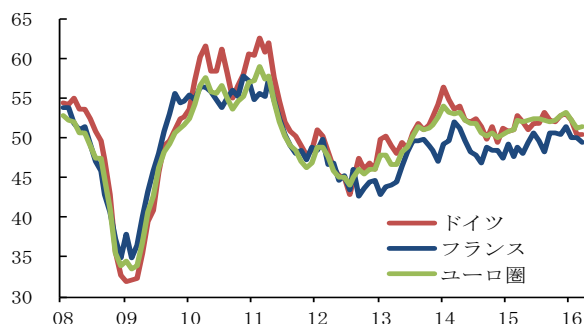
発表日：2016年3月23日（水）

～春の訪れ～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

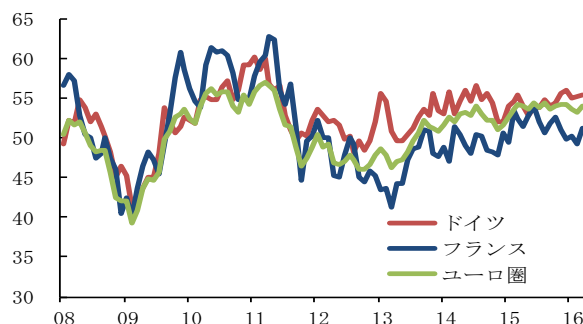
- 22日に発表された3月のユーロ圏の総合PMI速報値は3ヶ月振りに改善モメンタムが加速に転じた。発表元のMarkitによれば、同指数から判断した1-3月期の実質GDP成長率は、ユーロ圏が前期比+0.3%、ドイツが同+0.4%、フランスがゼロ成長に相当する。国別/業種別の内訳は、ドイツで製造業の改善モメンタムが3ヶ月連続で鈍化したほか、フランスで製造業が業況判断の分岐点（50）を7ヶ月振りに割り込むなど、製造業活動の低迷が続いている。他方、サービス業はドイツで今次サイクルの最高水準近くまで改善モメンタムが加速、フランスも50を回復して昨年11月以来の水準に復帰した。
- 同日発表された3月のドイツのIfo企業景況感が4ヶ月振りに改善。内訳は現状指数が2ヶ月連続、先行き指数が4ヶ月振りに改善した。業種別の先行きの業況判断は、製造業と建設業のマイナス幅が縮小し、小売業がプラス圏に復帰。同時に発表されたサービス業の景況感は改善モメンタムがやや鈍化したものの、堅調な水準を維持している。また、同じく同日発表された3月のドイツのZEW景況感（市場参加者の半年先の景況感）は歴史的にみれば低水準にとどまっているものの、3ヶ月振りに前月対比で改善した。現状判断は2ヶ月連続で悪化したものの、極めて高水準にある。業種別の業況判断は、鉄鋼、機械、自動車など輸出部門が前月対比の改善幅が大きかった。
- このように各種ソフトデータは揃って改善。世界景気への過度な悲観論が後退するなか、製造業活動の落ち込みに歯止めが掛かり、サービス業が底堅さを維持している。市場の不安定化が内需部門にも波及する負の連鎖はひとまず食い止められそうだ。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所：Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所：Markit

■ドイツ企業景況感（季節調整済み）

	2015				2016				2015				2016		
	2Q	3Q	4Q	1Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ZEW景況感（先行き）	42.2	22.3	9.5	5.2	31.5	29.7	25.0	12.1	1.9	10.4	16.1	10.2	1.0	4.3	
現状指数	66.3	65.7	54.9	54.2	62.9	63.9	65.7	67.5	55.2	54.4	55.0	59.7	52.3	50.7	
Ifo景況感（総合）	108.3	108.4	108.6	106.6	107.6	108.1	108.4	108.6	108.2	109.1	108.6	107.3	105.7	106.7	
現状指数	114.1	114.4	113.1	113.1	113.5	114.1	115.0	114.1	112.8	113.5	112.9	112.5	112.9	113.8	
先行き指数	102.8	102.7	104.4	100.4	102.1	102.5	102.3	103.3	103.9	104.8	104.6	102.4	98.9	100.0	
PMI製造業指数	51.7	52.5	52.7	51.1	51.9	51.8	53.3	52.3	52.1	52.9	53.2	52.3	50.5	50.4	
サービス業指数	53.6	54.3	55.4	55.3	53.8	53.8	54.9	54.1	54.5	55.6	56.0	55.0	55.3	55.5	

出所：ZEW、Ifo、Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。